

第3回運営委員会議事録

平成14年11月13日(水) 於：茨城県職員会館 第1会議室 15:00～16:30

1.出席者 運営委員13名

2.結果

(1)新全総分科会班報告

11月2日(土)に実施した「東海村北部地区」の現地調査について報告がありました。参加者は、21名で、次のポイント等を調査しました。

東海駅西および東土地区画整理事業地 村松虚空蔵尊 げんでんテラパーク 白方溜埴景公園 久慈川右岸低地および集落 久慈川新橋建設現場 石神城趾 東海村都市計画道路(台地部の市街化区域・調整区域の宅地等、斜面緑地の状況) 笠松運動公園 さわの杜住宅団地

調査に当たっては、東海村役場の方も参加され、御協力をいただきました。

(2)コンクリート構造物補修・補強分科会報告

第3回運営委員会開催の前の時間帯に、第1回会合を開きました。出席者は、茨城大学の福澤先生を始め、PCグループの11名が参加しました。初回のため、現状認識や各社での事例報告、補修法等の報告をいただきました。

茨城県の事例としては、気象的にも温暖で、地震も少なく海岸部の塩害等も少なく、他県に較べると構造物にとっては良い方ではないかとのことでした。

今後の進め方としては、県で持っている橋梁調査の資料等から、古い橋梁で、補強が必要な事例を抽出して分科会で補強法を提案することと、実際の担当者(各土木事務所の)に構造物の維持補修で困っている問題や課題、要望等についてアンケートを実施することになりました。

(3)現地見学会

12月20日(金)に東電常陸那珂火力発電所 小山ダムで実施することになり、別途案内を出す予定です。

(4)生活空間における「いやしの効果に関するシンポジウム」は、11月28日に実施する予定ですが、「植物から発生する電磁波によるいやしの効果」の講演予定の小林正典教授の都合が悪くなったの報告があり、既に案内を発送して参加者の募集を行っている関係上、研究室のどなたかが代理で発表戴けないかお願いしてほしいと要望致しました。

(5)「建築廃棄物の現状と建設業界における取り組みに関するシンポジウム」

平成15年1月24日(金)の開催に向けて、ワーキンググループの会議を関係者との調整を図って至急、開催することになりました。

主な内容は、

- ・建設廃棄物の現状
- ・廃棄物処理技術の現状

- ・発生抑制、分別解体に関する取り組みの現状
 - ・建設廃棄物の有効利用に関する取り組み
- などについて、行政、業界、コンサルタントなど関係者が集まるシンポジウムとなる予定です。

(6) 「古地図に見る日本の変遷」

茨城コンサルタントグループの鈴木信之様から、日本の古地図や水戸市街地の古地図の変遷をたどり、特にペリー艦隊の日本遠征記に関する記述から当時の日本の様子などを説明いただきました。

建設遺産分科会として発表できるような体制をとっていただくことになりました。

(7) 「GIS分科会」

あらためて現在いろいろな分野で使用されている方式について交通整理することと、情報源情報をデータベース化してニーズを整理することに取り組む予定としたいとの報告がありました。

- (8) 次回第4回運営委員会は、12月9日(月)に茨城県職員会館で、15:00から開催することになり、終了後に反省会を合わせて開催することになりました。
案内は、別途行います。